

科目名	クラスキャリアデザインⅠ				
担当教員	担任	実務授業の有無	有	授業形態	対面・オンライン併用
対象学科	全科	対象学年	1	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数	2	時間数(90分)	56
授業概要、目的、 授業の進め方	1、学校やクラスを知り、新しい環境に慣れる。 2、各コースの取り組みやクラス内で活動を通して友人をつくる。 3、各学期初めに目標を設定・振り返りを行う。 4、人間力を育成し、人として成長する意識を持つ。				
学習目標 (到達目標)	進級基準に到達する・卒業基準に到達する				
テキスト・教材・参考 図書・その他資料	実践行動学テキスト・作文力アップ! 伝わる文章を書く基本・コミュニケーション力アップ! 伝わる話し方・聴き方・書き方の基本・プレゼンテーション力アップ! 伝わる構成・資料・話し方の基本				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	新入生オリエンテーション		動機付け・学校を知る		
2	新入生オリエンテーション		入学準備		
3	新入生オリエンテーション②		英語レベルチェックテスト		
4	新入生オリエンテーション②		クラスを知る・自己紹介・テキスト配布		
5	個人面談		個人面談・自宅課題		
6	授業準備		学校のルールを知る①		
7	スーツでの立ち振る舞い演習①		授業や実習で実践するための立ち方、座り方を身につける		
8	実践行動学①		動機付け・クラスメートを知る・マジックドア1		
9	実践行動学②		動機付け・マジックドア2		
10	実践行動学③		マジックドア3・マジックドア4		
11	実践行動学④		マジックドア5・目標達成シート振り返り		
12	実践行動学⑤		目標発表・年間係決め		
13	スケジュール確認・避難経路確認?		GW明け時間割・年スケ確認・検診の注意点について		
14	個人面談		面談裏ですららなど課題		
15	個人面談		面談裏ですららなど課題		
16	ヘアセット演習		インターンシップやアルバイトで使えるビジネスヘアセットを学ぶ		
17	メイク演習		インターンシップやアルバイトで使えるビジネスメイクを学ぶ		
18	クラスキャリアデザインⅠ		大運動会競技決め		
19	話し方演習①		インターンシップやアルバイトで使える聞き方・伝え方を学ぶ		
20	話し方演習②		インターンシップやアルバイトで使える話し方・敬語を学ぶ		
21	学年キャリアアデザイン		大運動会のついでに連絡・配布物		
22	NSG大運動会		CFP対象イベントのため全員参加		
23	NSG大運動会		CFP対象イベントのため全員参加		
24	NSG大運動会		CFP対象イベントのため全員参加		
25	NSG大運動会		CFP対象イベントのため全員参加		
26	学年キャリアアデザイン		感染症予防講座(外部講師)		
27	スーツでの立ち振る舞い演習②		インターンシップやアルバイトで活かせる立ち居振る舞いを身につける		
28	クラス交流		インターンシップ前激励会		
29	後期オリエンテーション		年スケ・時間割連絡・就職研修について		
30	クラスキャリアデザインⅠ		面接練習について		
31	学年キャリアアデザイン		大学園祭全体連絡		
32	NSG大学園祭		CFP対象イベントのため全員参加		
33	NSG大学園祭		CFP対象イベントのため全員参加		
34	NSG大学園祭		CFP対象イベントのため全員参加		
35	クラスキャリアデザインⅠ		プレ求職登録のポイントと事前準備		
36	クラスキャリアデザインⅠ		プレ求職登録振り返り・修正点と今後の動きについて		
37	クラスキャリアデザインⅠ		就職活動について、個人面談		
38	クラスキャリアデザインⅠ		就職活動について、個人面談		
39	クラスキャリアデザインⅠ		年スケ・年明け時間割連絡・就職研修について		
40	学年またはクラスキャリアアデザインⅠ		年明け時間割・就職活動について		
41	クラスキャリアデザインⅠ		妙高研修旅行 事前準備		
42~51	クラスキャリアデザインⅠ		妙高研修旅行		
52	クラスキャリアデザインⅠ		求職登録面接準備・添削		
53	クラスキャリアデザインⅠ		求職登録面接 1回目		
54	クラスキャリアデザインⅠ		妙高研修・求職登録面接 振り返り		
55	クラスキャリアデザインⅠ		求職登録面接 2回目		
56	学年キャリアアデザイン		修了式		
評価方法・成績評価基準					
この科目評価は		1	2	5	によって総合的に評価される(番号を記入)
1 出席率(8割以上) (50 %)		6 発表 (%)			
2 授業内の態度や参加度が評価できる (30 %)		7 最終レポート (%)			
3 検定試験の合格または検定試験結果を含む (%)		8 その他 (%)			
4 期末試験 (%)		9 その他 (%)			
5 授業内の小テストや課題提出 (20 %)		10 その他 (%)			
※より詳細な各項目の評価%が明記されている場合には、その内容に従うこと ※成績基準は A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(追試合格)・F(不合格)とする					
履修上の注意		人としてどう成長したいのか、目指す姿を想像しながら取り組んでください。			
実務経験教員の経歴		10年以上実務経験あり			

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名		ビジネス実務Ⅰ					
担当教員		佐藤 貴子		実務授業の有無	有	授業形態	対面と遠隔
対象学科		全科		対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択		必修		単位数	1	時間数（90分）	8
授業概要、目的、授業の進め方		社会人として必要な基本的なビジネスマナーロールプレイや演習を通して実践的に習得する。講義と演習を組み合わせ、一人一人が安心して発言、実践できる環境の中で進めていく。					
学習目標（到達目標）		基本的な挨拶や敬語、相手に配慮した言葉使いや態度を実践できること。					
テキスト・教材・参考図書・その他資料		ウィネット「コミュニケーション講座」・「就活に役立つ文章講座」					
回数	授業項目、内容				学習方法・準備学習・備考		
1	オリエンテーション・マインドセット、身だしなみと姿勢・歩き方				講義		
2	オンライン・マナー画面を通した「空気感」の作り方、ビジネスメールの作成文字だけで「安心感」を与える行間と表現				講義・演習		
3	敬語の基本（3分類）、挨拶と表情・発声				講義・演習（PC必要）		
4	接遇用語とクッション言葉、報・連・相の基本				講義・演習（PC必要）		
5	電話対応の基本（受発信）、来客対応と名刺交換（基本）				講義・演習（PC必要）		
6	案内の誘導と歩行マナー、席次のルールと空間把握				講義・演習		
7	ビジネスマナーの基本全般、物の受け渡しと物の扱い				講義・演習		
8	現場に合わせた敬語、クレームについて、前期総括・実技チェック				講義・演習		
評価方法・成績評価基準							
この科目評価は		1	2	5			によって総合的に評価される（番号を記入）
1 出席率（8割以上）（ 30 %）					6 発表（ %）		
2 授業内の態度や参加度が評価できる（ 30 %）					7 最終レポート（ %）		
3 検定試験の合格または検定試験結果を含む（ %）					8 その他（ %）		
4 期末試験（ %）					9 その他（ %）		
5 授業内の小テストや課題提出（ 40 %）					10 その他（ %）		
※より詳細な各項目の評価%が明記されている場合には、その内容に従うこと ※成績基準は A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(追試合格)・F(不合格)とする							
履修上の注意		実践して身につける授業のため、積極的な参加を大切にし、授業での間違いを恐れず間違いは学びの機会と捉え、安心して実践に取り組める環境のもとで演習を行う。					
実務経験教員の経歴		10年以上実務経験あり					

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	ビジネス実務Ⅱ				
担当教員	佐藤 貴子	実務授業の有無	有	授業形態	対面と遠隔
対象学科	全科	対象学年	1	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	1	時間数（90分）	8コマ
授業概要、目的、 授業の進め方	前期に修得したビジネスマナーを基礎として、実践的な演習を行う。人前で話す事にも重点を置き、プレゼンテーションやロールプレイを通して、話し方や文章構成、社会人として求められる伝達力、表現力の向上を目指す。また、小テストを行いながら一人一人の理解度を確認していく。				
学習目標 （到達目標）	適切な敬語、言葉使い、社会人としてふさわしい態度および行動ができるようになる事				
テキスト・教材・参考 図書・その他資料	ウィネット「プレゼンテーション講座」				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	社会人に向けてのマナーの定義、敬語と言葉の言い換え・リフレーミング・小テスト		講義		
2	名刺交換（複数・応用）・案内・小テスト、「聴く姿勢」と「共感の言葉」・小テスト		講義・演習		
3	電話応対（ロープルプレイ）・小テスト、話の構成（PREP法）・小テスト		講義・演習		
4	オンラインでの打ち合わせ・姿勢・話し方、文書構成・メール作成送信 ホスピタリティを両立させた文書		講義・演習		
5	プレゼンテーションの基本、正しい敬語での自己表現		講義・演習		
6	話し方の技術（言語化と発声）、プレゼン①：グループ発表 自己、相互評価		10年以上実務経験あり		
7	プレゼン②：全体発表		講義・演習		
8	総合テスト・振り返り		講義・演習		
評価方法・成績評価基準					
この科目評価は	1	2	5		によって総合的に評価される（番号を記入）
1 出席率（8割以上）（ 30 %）			6 発表（ %）		
2 授業内の態度や参加度が評価できる（ 30 %）			7 最終レポート（ %）		
3 検定試験の合格または検定試験結果を含む（ %）			8 その他（ %）		
4 期末試験（ %）			9 その他（ %）		
5 授業内の小テストや課題提出（ 40 %）			10 その他（ %）		
※より詳細な各項目の評価%が明記されている場合には、その内容に従うこと ※成績基準は A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(追試合格)・F(不合格)とする					
履修上の注意	ロールプレイへの取り組みや、挨拶、返事、姿勢などの基本的な態度について評価します。ミニテストで知識確認と、演習を通じた実践を重ねることにより社会人として自信を持って行動できる力を養います。				
実務経験教員の経歴	10年以上実務経験あり				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名		コミュニケーション									
担当教員		担任		実務授業の有無		有		授業形態		対面	
対象学科		全科		対象学年		1		開講時期		前期	
必修・選択		必修		単位数		1		時間数（90分）		10コマ	
授業概要、目的、 授業の進め方		・グループワークで実際に取りながら、テキストで学んだ内容を実践で身に付ける。 ・過去問題を繰り返し取組み、問題の傾向や対策・ポイントを知る。									
学習目標 (到達目標)		・価値観の異なる人とコミュニケーションが取れるようになる ・コミュニケーション検定に合格する									
テキスト・教材・参考 図書・その他資料		コミュニケーション検定初級 公式ガイドブック＆問題集									
回数	授業項目、内容					学習方法・準備学習・備考					
1	コミュニケーションの意味と目的、話す・傾聴・質問する										
2	言葉選びと話の組立て、表現方法を学ぶ										
3	来客応対、電話応対、訪問や挨拶の仕方										
4	情報共有の大切さ、チームコミュニケーション										
5	接客、営業の手法、クレーム対応										
6	会議、取材、ヒアリング、面接での対応の仕方										
7	模擬問題に取り組む										
8	過去問題に取り組む										
9	過去問題に取り組む										
10	検定本番										
評価方法・成績評価基準											
この科目評価は		1	2	3	5						によって総合的に評価される（番号を記入）
1 出席率（8割以上）（ 30 %）							6 発表（ %）				
2 授業内の態度や参加度が評価できる（ 20 %）							7 最終レポート（ %）				
3 検定試験の合格または検定試験結果を含む（ 30 %）							8 その他（ %）				
4 期末試験（ %）							9 その他（ %）				
5 授業内の小テストや課題提出（ 20 %）							10 その他（ %）				
※より詳細な各項目の評価%が明記されている場合には、その内容に従うこと ※成績基準は A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(追試合格)・F(不合格)とする											
履修上の注意		検定対策の過去問題の得点により、放課後に特講を行う場合がある。									
実務経験教員の経歴		10年以上実務経験あり									

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	ソフトウェア活用実習Ⅰ（PCに慣れる）											
担当教員	竹内正明			実務授業の有無		有		授業形態		対面と遠隔		
対象学科	全科			対象学年		1		開講時期		前期		
必修・選択	必修			単位数		1		時間数（90分）		8コマ		
授業概要、目的、 授業の進め方	ビジネス文書作成、プレゼンテーション等に必要なパソコンスキルを学ぶ											
学習目標 (到達目標)	サーティファイWord文書処理能力検定3級 受験準備											
テキスト・教材・参考 図書・その他資料	サーティファイWord2024クイックマスター基本編 Word文書処理能力検定3級問題集											
回数	授業項目、内容						学習方法・準備学習・備考					
1	事前準備、windowsの基礎①（エクスプローラー、拡張子等）						演習 PC必要					
2	Windowsの基礎②（保存の概念、インターネット、メール送受信等）						演習 PC必要					
3	Wordの基本、文字入力と編集の基本操作						演習 PC必要					
4	文書の編集、文書の印刷						演習 PC必要					
5	文書の作成						演習 PC必要					
6	表を使った文書の作成						演習 PC必要					
7	図形や画像を使った文書の作成						演習 PC必要					
8	総合学習問題						演習 PC必要					
評価方法・成績評価基準												
この科目評価は	1	2	3	5							によって総合的に評価される（番号を記入）	
1 出席率（8割以上）（25％）							6 発表（％）					
2 授業内の態度や参加度が評価できる（25％）							7 最終レポート（％）					
3 検定試験の合格または検定試験結果を含む（25％）							8 その他	(％)				
4 期末試験（％）							9 その他	(％)				
5 授業内の小テストや課題提出（25％）							10 その他	(％)				
※より詳細な各項目の評価％が明記されている場合には、その内容に従うこと ※成績基準は A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(追試合格)・F(不合格)とする												
履修上の注意	通常の授業の内容を確実に理解し、問題集の問題を全て完成させることで検定合格に結びつくため、学生のモチベーションをキープさせることを心がける											
実務経験教員の経歴	10年以上実務経験あり											

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	ソフトウェア活用実習Ⅱ（Word検定対策）				
担当教員	竹内正明	実務授業の有無	有	授業形態	対面と遠隔
対象学科	全科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	1	時間数（90分）	9コマ
授業概要、目的、 授業の進め方	ビジネス文書作成、プレゼンテーション等に必要なパソコンスキルを学び、Word検定3級に合格する				
学習目標 （到達目標）	サートファイWord文書処理能力検定3級 合格				
テキスト・教材・参考 図書・その他資料	サートファイWord2024クイックマスター基本編 Word文書処理能力検定3級問題集				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	検定対策 問題集練習問題1		演習 PC必要		
2	検定対策 問題集練習問題2.3		各自の進度によって演習 PC必要		
3	検定対策 問題集模擬問題1		演習 PC必要		
4	検定対策 問題集模擬問題2～7		各自の進度によって演習 PC必要		
5	検定対策 問題集模擬問題2～7		各自の進度によって演習 PC必要		
6	検定対策 問題集模擬問題2～7		各自の進度によって演習 PC必要		
7	検定対策 問題集模擬問題2～7		各自の進度によって演習 PC必要		
8	サンプル問題		各自の進度によって演習 PC必要		
9	検定試験				
評価方法・成績評価基準					
この科目評価は	1	2	3	5	によって総合的に評価される（番号を記入）
1 出席率（8割以上）（25%）					6 発表（%）
2 授業内の態度や参加度が評価できる（25%）					7 最終レポート（%）
3 検定試験の合格または検定試験結果を含む（25%）					8 その他（%）
4 期末試験（%）					9 その他（%）
5 授業内の小テストや課題提出（25%）					10 その他（%）
※より詳細な各項目の評価%が明記されている場合には、その内容に従うこと ※成績基準は A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(追試合格)・F(不合格)とする					
履修上の注意	通常の授業の内容を確実に理解し、問題集の問題を全て完成させることで検定合格に結びつくため、学生のモチベーションをキープさせることを心がける				
実務経験教員の経歴	10年以上実務経験あり				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	ソフトウェア活用実習Ⅲ（Excel検定対策）				
担当教員	竹内正明	実務授業の有無	有	授業形態	対面と遠隔
対象学科	全科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数（90分）	15コマ
授業概要、目的、授業の進め方	実務に必要なパソコンスキルを学び、サーティファイEXCEL表計算処理技能能力検定3級に合格する				
学習目標（到達目標）	サーティファイEXCEL表計算処理技能能力検定3級 合格				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	サーティファイEXCEL2021クイックマスター基本編 EXCEL表計算処理技能認定試験3級問題集				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	EXCELの基本、データの編集		演習 PC必要		
2	表の編集		演習 PC必要		
3	ブックの印刷		演習 PC必要		
4	グラフと図形の作成		演習 PC必要		
5	ブックの利用と管理		演習 PC必要		
6	関数		演習 PC必要		
7	データベース機能		演習 PC必要		
8	総合学習問題		演習 PC必要		
9	検定対策 問題集練習問題1		演習 PC必要		
10	検定対策 問題集練習問題 2.3		各自の進度によって演習 PC必要		
11	検定対策 問題集模擬問題1		演習 PC必要		
12	検定対策 問題集模擬問題 2～7		各自の進度によって演習 PC必要		
13	検定対策 問題集模擬問題 2～8		各自の進度によって演習 PC必要		
14	サンプル問題		各自の進度によって演習 PC必要		
15	検定試験				
評価方法・成績評価基準					
この科目評価は	1	2	3	5	によって総合的に評価される（番号を記入）
1 出席率（8割以上）（ 25%）			6 発表（ %）		
2 授業内の態度や参加度が評価できる（ 25%）			7 最終レポート（ %）		
3 検定試験の合格または検定試験結果を含む（ 25%）			8 その他（ %）		
4 期末試験（ %）			9 その他（ %）		
5 授業内の小テストや課題提出（ 25%）			10 その他（ %）		
※より詳細な各項目の評価%が明記されている場合には、その内容に従うこと ※成績基準は A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(追試合格)・F(不合格)とする					
上の注意	通常の授業の内容を確実に理解し、問題集の問題を全て完成させることで検定合格に結びつくため、学生のモチベーションをキープさせることを心がける				
教員の経歴	10年以上実務経験あり				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	日常英会話Ⅰ（1年生）											
担当教員	藤田愛子			実務授業の有無		有		授業形態		対面・オンライン		
対象学科	全学科			対象学年		1		開講時期		前期		
必修・選択	必修			単位数		1		時間数（90分）		10コマ		
授業概要、目的、 授業の進め方	スタディサプリEnglishからのアプリを用いて、英会話の授業を習熟度別に行う。苦手意識を持たず、たくさん発音できる環境をつくる。入社後は海外からのお客様を相手にすることも多いことを念頭に置いてスムーズな発語とリスニングにも力を入れて進める。											
学習目標 （到達目標）	自分のレベル課題が終了し、英語への抵抗感がなくなる											
テキスト・教材・参考 図書・その他資料	スタディサプリEnglish											
回数	授業項目、内容						学習方法・準備学習・備考					
1	オリエンテーション						スタディサプリEnglish					
2	Unit 1 Lesson 5 （トレーニング1/2/4）											
3	Unit 2 Lesson10 （トレーニング1/2/4）											
4	Unit3 Lesson15 （トレーニング1/2/4）											
5	Unit6 Lesson30 （トレーニング1/2/4）											
6	Unit7 Lesson35 （トレーニング1/2/4）											
7	Unit9 Lesson45 （トレーニング1/2/4）											
8	Unit10 Lesson50 （トレーニング1/2/4）											
9	Unit11 Lesson55 （トレーニング1/2/4）											
10	総合確認											
評価方法・成績評価基準												
この科目評価は	1	2	5							によって総合的に評価される（番号を記入）		
1 出席率（8割以上）（ 30%）							6 発表（ %）					
2 授業内の態度や参加度が評価できる（ 30%）							7 最終レポート（ %）					
3 検定試験の合格または検定試験結果を含む（ %）							8 その他（ %）					
4 期末試験（ %）							9 その他（ %）					
5 授業内の小テストや課題提出（ 40%）							10 その他（ %）					
※より詳細な各項目の評価%が明記されている場合には、その内容に従うこと ※成績基準は A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(追試合格)・F(不合格)とする												
履修上の注意	高校時代の学習レベルが違うことに配慮し、文法よりも楽しく会話することに重点を置く。											
実務経験教員の経歴	10年以上経験あり											

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名		日常英会話2（1年生）					
担当教員		藤田愛子		実務授業の有無	有	授業形態	対面・オンライン
対象学科		全学科		対象学年	1	開講時期	後期
必修・選択		必修		単位数	1	時間数（90分）	10コマ
授業概要、目的、授業の進め方		スタディサプリEnglishからのアプリを用いて、英会話の授業を習熟度別に行う。苦手意識を持たず、					
学習目標（到達目標）		自分のレベル課題が終了し、英語への抵抗感がなくなる					
テキスト・教材・参考図書・その他資料		スタディサプリEnglish					
回数	授業項目、内容				学習方法・準備学習・備考		
1	オリエンテーション				スタディサプリEnglish		
2	Unit 26 Lesson130 （トレーニング1/2/4）						
3	Unit 27 Lesson135 （トレーニング1/2/4）						
4	Unit 28 Lesson140 （トレーニング1/2/4）						
5	Unit 30 Lesson150 （トレーニング1/2/4）						
6	Unit 31 Lesson155 （トレーニング1/2/4）						
7	Unit 32 Lesson160 （トレーニング1/2/4）						
8	Unit10 Lesson50 （トレーニング1/2/4）						
9	Unit11 Lesson55 （トレーニング1/2/4）						
10	総合確認						
評価方法・成績評価基準							
この科目評価は		1	2	5			によって総合的に評価される（番号を記入）
1 出席率（8割以上）（ 30%）					6 発表（ %）		
2 授業内の態度や参加度が評価できる（ 30%）					7 最終レポート（ %）		
3 検定試験の合格または検定試験結果を含む（ %）					8 その他（ %）		
4 期末試験（ %）					9 その他（ %）		
5 授業内の小テストや課題提出（ 40%）					10 その他（ %）		
※より詳細な各項目の評価％が明記されている場合には、その内容に従うこと ※成績基準は A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(追試合格)・F(不合格)とする							
履修上の注意		高校時代の学習レベルが違うことに配慮し、文法よりも楽しく会話することに重点を置く。					
実務経験教員の経歴		10年以上経験あり					

科目名	SNSマーケティング										
担当教員	馬場秀憲			実務授業の有無		有		授業形態		対面・オンライン	
対象学科	全学科			対象学年		1		開講時期		後期	
必修・選択	必修			単位数		1		時間数（90分）		15コマ	
授業概要、目的、 授業の進め方	・業種問わず企業や商品のプロモーション・採用活動においてSNSを絡めた展開を、費用感をもって提案できる力を身につける ・実際に撮影、制作、投稿することで実際に活用できるノウハウを学ぶ										
学習目標 (到達目標)	SNSマーケティングの知識や技術を身につけ、社会に出たときに必要性を理解できるようになる										
テキスト・教材・参考 図書・その他資料	始めて学ぶ人のSNSマーケティングテキスト（ウイネット）										
回数	授業項目、内容					学習方法・準備学習・備考					
1	マーケティングの目的、マーケティングの遷移とSNS										
2	企業SNSの目的、代表的なSNS、										
3	グループワーク（例題をSNSで拡散してみよう）①										
4	グループワーク（例題をSNSで拡散してみよう）②										
5	発表プレゼンテーション										
6	運用型広告の基本知識、X広告の特徴と出稿の仕方										
7	Instagram・YouTube広告の特徴と出稿の仕方										
8	ダミーアカウントでの配信設定										
9	グループ内アカウントの広告配信設定から、前に立てた企画の広告費用を算出してみよう										
10	スチール撮影実習										
11	スチール撮影実習										
12	動画撮影実習										
13	投稿作成										
14	コンテンツ制作実習										
15	KPI・データ分析・戦略策定・レポート作成										
評価方法・成績評価基準											
この科目評価は		1	2	6	7						によって総合的に評価される（番号を記入）
1 出席率（8割以上）（ 25 %）							6 発表（ 25 %）				
2 授業内の態度や参加度が評価できる（ 25 %）							7 最終レポート（ 25 %）				
3 検定試験の合格または検定試験結果を含む（ %）							8 その他（ %）				
4 期末試験（ %）							9 その他（ %）				
5 授業内の小テストや課題提出（ %）							10 その他（ %）				
※より詳細な各項目の評価%が明記されている場合には、その内容に従うこと ※成績基準は A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(追試合格)・F(不合格)とする											
履修上の注意		授業はダミーアカウントを使用して実際に撮影、制作、配信する形で行うため、積極的に授業に参加してもらいたい									
実務経験教員の経歴		10年以上経験あり									

科目名		手話演習Ⅰ												
担当教員		馬場秀憲			実務授業の有無		有		授業形態		対面			
対象学科		葬祭ディレクター科・ホスピタリティ・ベーシック科					対象学年		1		開講時期		前期	
必修・選択		必修			単位数		1		時間数（90分）		8コマ			
授業概要、目的、 授業の進め方		手話言語及び文化に関する講義及び実技												
学習目標 (到達目標)		手話で挨拶ができるようになる												
テキスト・教材・参考 図書・その他資料		谷千春監修『ゼロからわかる手話入門』主婦の友社，2019年												
回数	授業項目、内容							学習方法・準備学習・備考						
1	オリエンテーション・①あいさつ 内容：授業説明、手話の基本、基本のあいさつ表現							テキスト例文の確認、模倣練習、ペア会話						
2	授業項目：②返事 内容：はい・いいえなどの基本的な返答表現							例文練習、対話演習						
3	授業項目：③あいづち 内容：会話を続けるための表現							会話練習、ロールプレイ						
4	授業項目：④自己紹介 内容：名前・出身などの自己紹介							自己紹介演習、ミニ発表						
5	授業項目：⑤天気 内容：天気に関する語彙と簡単な会話							例文練習、ペア対話						
6	授業項目：⑥遊び・趣味 内容：趣味や好きなことの表現							質問形式の会話練習						
7	授業項目：⑦学校 内容：学校生活に関する手話							ロールプレイ						
8	授業項目：⑧家族（まとめ） 内容：家族の紹介、前期内容の総合練習							会話演習、振り返り						
評価方法・成績評価基準														
この科目評価は		1	2	4							によって総合的に評価される（番号を記入）			
1 出席率（8割以上）（70％）									6 発表（		％）			
2 授業内の態度や参加度が評価できる（10％）									7 最終レポート（		％）			
3 検定試験の合格または検定試験結果を含む（		％）							8 その他		（			％）
4 期末試験（20％）									9 その他		（			％）
5 授業内の小テストや課題提出（		％）							10 その他		（			％）
※より詳細な各項目の評価％が明記されている場合には、その内容に従うこと ※成績基準は A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(追試合格)・F(不合格)とする														
履修上の注意		テキストは授業の前に目を通しておくことをおすすめします。 手話を言語として生活している方(聾者講師)と聴者講師によって授業進行します。												
実務経験教員の経歴		学校や大学における手話指導経験、手話通訳、社会福祉												

科目名		手話演習Ⅱ									
担当教員		馬場秀憲		実務授業の有無		有		授業形態		対面	
対象学科		葬祭ディレクター科・ホスピタリティ・ベーシック科		対象学年		1		開講時期		後期	
必修・選択		必修		単位数		1		時間数（90分）		8 コマ	
授業概要、目的、 授業の進め方		手話言語及び文化に関する講義及び実技									
学習目標 (到達目標)		手話の幅広い表現力を身につける									
テキスト・教材・参考 図書・その他資料		谷千春監修『ゼロからわかる手話入門』主婦の友社，2019年									
回数	授業項目、内容					学習方法・準備学習・備考					
1	オリエンテーション／あいさつの手話					テキスト解説、模倣練習、ペアでのあいさつ対話演習					
2	指文字（名前の表現）／自己紹介					テキスト解説、指文字反復練習、自己紹介ミニ発表					
3	数字の手話、年齢・時間・日付の表現					テキスト解説、カード練習、ペアワーク（質問と回答）					
4	家族・学校生活などの基本語彙と簡単な会話					語彙練習、ロールプレイ形式の対話演習					
5	表情・非手指動作（NMS）の基礎					実演、鏡や動画を使った確認、グループ練習					
6	日常会話（質問表現）					テキスト解説、ペアで質問ゲーム形式の演習					
7	これまで学んだ表現を組み合わせた短い会話					グループ練習、ロールプレイ、フィードバック					
8	まとめ・ミニ発表／簡単な自己紹介と日常会話の発表、理解度確認					発表形式の演習、講評、振り返り					
評価方法・成績評価基準											
この科目評価は		1	2	4						によって総合的に評価される（番号を記入）	
1 出席率（8割以上）（70％）							6 発表（		％）		
2 授業内の態度や参加度が評価できる（10％）							7 最終レポート（		％）		
3 検定試験の合格または検定試験結果を含む（		％）					8 その他		（		
4 期末試験（20％）							9 その他		（		
5 授業内の小テストや課題提出（		％）					10 その他		（		
※より詳細な各項目の評価％が明記されている場合には、その内容に従うこと ※成績基準は A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(追試合格)・F(不合格)とする											
履修上の注意		テキストは授業の前に目を通しておくことをおすすめします。 手話を言語として生活している方(聾者講師)と聴者講師によって授業進行します。									
実務経験教員の経歴		学校や大学における手話指導経験、手話通訳、社会福祉									

科目名	ホスピタリティ産業論									
担当教員	鈴木敬一郎・古田千晶		実務授業の有無		有		授業形態		対面とオンライン	
対象学科	全科		対象学年		1		開講時期		前期	
必修・選択	必修		単位数		1		時間数（90分）		8コマ	
授業概要、目的、 授業の進め方	業界の職種や仕事内容、ケーススタディから「人としてどう生きるか」と考えてもらう									
学習目標 （到達目標）	「自分の人生をどう生きるか」「どんな人になりたいか」を一人一人が考える									
テキスト・教材・参考 図書・その他資料	特になし									
回数	授業項目、内容					学習方法・準備学習・備考				
1	自己紹介、ガイダンス（スケジュール・評価方法）、 ホテルの概要、					レジュメ、パワーポイント、動画				
2	ホテルで働く魅力、ホテル業界の環境、現況、 ホテルの種類・形態					レジュメ、パワーポイント、動画				
3	ホテルの仕事①（宿泊部門） （組織・職種・業務内容・基礎知識）					レジュメ、パワーポイント、動画				
4	ホテルの仕事②（料飲・宴会部門） （組織・職種・業務内容・基礎知識）まとめ					レジュメ、パワーポイント、DVD				
5	「結婚式」とは？ 挙式と披露宴、挙式スタイル、働く場所、何のためにやる？					パワーポイント、動画				
6	ウェディングのスケジュール・To doと、関わる職種					パワーポイント、動画				
7	挙式・披露宴の演出と、知っておきたい参列マナー					パワーポイント、動画、プリント教材				
8	おもてなしウェディングアワードについて					パワーポイント、動画、プリント（レポート）				
評価方法・成績評価基準										
この科目評価は		1	2	5	7					によって総合的に評価される（番号を記入）
1 出席率（8割以上）（ 30 %）						6 発表（ %）				
2 授業内の態度や参加度が評価できる（ 10 %）						7 最終レポート（ 50 %）				
3 検定試験の合格または検定試験結果を含む（ %）						8 その他（ %）				
4 期末試験（ %）						9 その他（ %）				
5 授業内の小テストや課題提出（ 10 %）						10 その他（ %）				
※より詳細な各項目の評価%が明記されている場合には、その内容に従うこと ※成績基準は A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(追試合格)・F(不合格)とする										
履修上の注意		専門知識は前提としないが、授業を通じて扱う内容は実務や就職活動と密接に関係している。業界や職業観を自分自身の進路と結びつけながら、主体的に受講すること。								
実務経験教員の経歴		実務含め、10年以上経験あり								

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	基礎心理学を学ぶ										
担当教員	馬場秀憲			実務授業の有無		有		授業形態		対面	
対象学科	葬祭ディレクター科・ホスピタリティ・ベーシック科			対象学年		1		開講時期		後期	
必修・選択	必修			単位数		1		時間数（90分）		8コマ	
授業概要、目的、 授業の進め方	・認知心理学、社会心理学の学習を通して、自己理解、他者理解への意識を持つ										
学習目標 (到達目標)	・確認テストで合格できる力を身につける										
テキスト・教材・参考 図書・その他資料	こころ検定4級 公式テキスト・問題集										
回数	授業項目、内容					学習方法・準備学習・備考					
1	授業の目的を知る、認知心理学とは、覚えると忘れる					テキスト、動画、PPなど					
2	記憶とこころの関係、考えるとこころの関係					テキスト、動画、PPなど					
3	時間と心の関係、こころと物事のとらえ方					テキスト、動画、PPなど					
4	ミニテスト・認知心理学まとめ					テキスト、動画、PPなど					
5	社会心理学とは、どうして他者が気になるのか					テキスト、動画、PPなど					
6	どうしたら良くみられるのか、恋愛とこころの関係					テキスト、動画、PPなど					
7	コミュニケーションとこころ、個人と集団の違い					テキスト、動画、PPなど					
8	ミニテスト・社会心理学まとめ					テキスト、動画、PPなど					
9	確認テスト										
評価方法・成績評価基準											
この科目評価は		1	2	4	5						によって総合的に評価される（番号を記入）
1 出席率（8割以上）（ 30 %）						6 発表（ %）					
2 授業内の態度や参加度が評価できる（ 20 %）						7 最終レポート（ %）					
3 検定試験の合格または検定試験結果を含む（ %）						8 その他（ %）					
4 期末試験（ 30 %）						9 その他（ %）					
5 授業内の小テストや課題提出（ 20 %）						10 その他（ %）					
※より詳細な各項目の評価%が明記されている場合には、その内容に従うこと ※成績基準は A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(追試合格)・F(不合格)とする											
履修上の注意		時間を作って予習・復習に取り組んでください									
実務経験教員の経歴		実務含め、10年以上経験あり									

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	ストレスとこころの健康										
担当教員	馬場秀憲			実務授業の有無		有		授業形態		対面	
対象学科	葬祭ディレクター科・ホスピタリティ・ベーシック科			対象学年		1		開講時期		後期	
必修・選択	必修			単位数		1		時間数（90分）		8コマ	
授業概要、目的、 授業の進め方	・生理心理学、感情心理学、知能の学習を通して、自己理解、他者理解への意識を持つ										
学習目標 (到達目標)	・確認テストで合格できる力を身につける										
テキスト・教材・参考 図書・その他資料	こころ検定4級 公式テキスト・問題集										
回数	授業項目、内容					学習方法・準備学習・備考					
1	授業の目的を知る、生理心理学とは、脳・神経とこころ					テキスト、動画、PPなど					
2	「起きる」「眠る」とこころ、ウソとこころ					テキスト、動画、PPなど					
3	ストレスの基礎知識、ミニテスト					テキスト、動画、PPなど					
4	感情心理学とは、気持ちとは					テキスト、動画、PPなど					
5	気持ちと身体の関係、気持ちを測定する方法					テキスト、動画、PPなど					
6	どうしたらやる気ができるのか、他者の気持ちを理解すること					テキスト、動画、PPなど					
7	知能とは、知能の構造					テキスト、動画、PPなど					
8	私たちの生活と知能、人間と動物の知能、知能を測定する方法					テキスト、動画、PPなど					
9	確認テスト										
評価方法・成績評価基準											
この科目評価は	1	2	4	5							によって総合的に評価される（番号を記入）
1 出席率（8割以上）（ 30 %）						6 発表（ %）					
2 授業内の態度や参加度が評価できる（ 20 %）						7 最終レポート（ %）					
3 検定試験の合格または検定試験結果を含む（ %）						8 その他（ %）					
4 期末試験（ 30 %）						9 その他（ %）					
5 授業内の小テストや課題提出（ 20 %）						10 その他（ %）					
※より詳細な各項目の評価%が明記されている場合には、その内容に従うこと ※成績基準は A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(追試合格)・F(不合格)とする											
履修上の注意	時間を作って予習・復習に取り組んでください										
実務経験教員の経歴	実務含め、10年以上経験あり										

科目名		基本キーワード心理学（学習・知覚）										
担当教員		馬場秀憲			実務授業の有無		有		授業形態		対面	
対象学科		警察ディレクター科・ホスピタリティ・ベーシック科			対象学年		1		開講時期		後期	
必修・選択		必修			単位数		1		時間数（90分）		8コマ	
授業概要、目的、 授業の進め方		・学習心理学、知覚心理学の学習を通して、自己理解、他者理解への意識を持つ										
学習目標 （到達目標）		・確認テストで合格できる力を身につける										
テキスト・教材・参考 図書・その他資料		こころ検定4級 公式テキスト・問題集										
回数	授業項目、内容						学習方法・準備学習・備考					
1	授業の目的を知る、学習心理学とは、なぜ行動してしまうのか						テキスト、動画、PPなど					
2	なぜ、やめられないのか、行動に影響を与えるこころの作用						テキスト、動画、PPなど					
3	もっと上手に行動するには、						テキスト、動画、PPなど					
4	ミニテスト・学習心理学まとめ						テキスト、動画、PPなど					
5	知覚心理学とは、奥行きの知覚、錯視						テキスト、動画、PPなど					
6	聞くこととこころの関係、連動する知覚						テキスト、動画、PPなど					
7	様々な知覚						テキスト、動画、PPなど					
8	確認テスト											
評価方法・成績評価基準												
この科目評価は		1	2	4	5						によって総合的に評価される（番号を記入）	
1 出席率（8割以上）（ 30 %）								6 発表（ %）				
2 授業内の態度や参加度が評価できる（ 20 %）								7 最終レポート（ %）				
3 検定試験の合格または検定試験結果を含む（ %）								8 その他		（ %）		
4 期末試験（ 30 %）								9 その他		（ %）		
5 授業内の小テストや課題提出（ 20 %）								10 その他		（ %）		
※より詳細な各項目の評価%が明記されている場合には、その内容に従うこと ※成績基準は A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(追試合格)・F(不合格)とする												
履修上の注意		時間を作って予習・復習に取り組んでください										
実務経験教員の経歴		実務含め、10年以上経験あり										

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	伝える力を伸ばす				
担当教員	馬場秀憲	実務授業の有無	有	授業形態	対面
対象学科	ホスピタリティ・ベーシック科	対象学年	1	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	1	時間数(90分)	10コマ
授業概要、目的、 授業の進め方	・1年間取り組んできた授業、実習、イベントなどから自己成長した事をまとめ、自己PRを作成・台本やPPにまとめて発表する				
学習目標 (到達目標)	自分の言葉で自己PRが話せるようになる				
テキスト・教材・参考 図書・その他資料	特になし				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	授業の目的を知る、取り組んだことを振り返りエピソードを決める				
2	エピソードをもとに、自己成長したことを思い出し文章を作る				
3	台本文章チェック				
4	PPチェック				
5	修正				
6	台本・PP完成				
7	発表リハーサル・話し方チェック				
8	発表リハーサル				
9	発表会本番				
10	振り返り				
評価方法・成績評価基準					
この科目評価は	1	2	6		によって総合的に評価される(番号を記入)
1 出席率(8割以上) (30 %)			6 発表 (40 %)		
2 授業内の態度や参加度が評価できる (30 %)			7 最終レポート (%)		
3 検定試験の合格または検定試験結果を含む (%)			8 その他 (%)		
4 期末試験 (%)			9 その他 (%)		
5 授業内の小テストや課題提出 (%)			10 その他 (%)		
※より詳細な各項目の評価%が明記されている場合には、その内容に従うこと ※成績基準は A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(追試合格)・F(不合格)とする					
履修上の注意	自己PRは台本を見なくても話せるように練習すること				
実務経験教員の経歴	実務含め、10年以上経験あり				

科目名	環境論入門				
担当教員	馬場秀憲	実務授業の有無	有	授業形態	オンライン
対象学科	ホスピタリティ・ベーシック科	対象学年	1	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数	2	時間数（90分）	16コマ
授業概要、目的、 授業の進め方	地球温暖化や環境に配慮した商品の開発など、環境問題への基礎知識を習得する				
学習目標 (到達目標)	環境問題の概要を理解し、その解決のための取り組みを説明できるようになる				
テキスト・教材・参考 図書・その他資料	レジュメ				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	授業の目的を知る、イントロダクション				
2	気候変動のメカニズム①温室効果とは何か				
3	気候変動のメカニズム②気候システムについて				
4	気候変動の現状と将来像				
5	再生可能エネルギーについて				
6	核分裂と核融合				
7	原子力発電の仕組み				
8	核燃料サイクルについて				
9	放射線と人体への影響				
10	災害列島日本になぜ原発があるのか、取り組みと対策				
11	原子力は気候変動対策に有効なのか				
12	生物多様性と生物進化				
13	生物多様性と生態系				
14	生態系破壊の現状と背景				
15	生物多様性破壊の影響、課題				
16	確認テスト				
評価方法・成績評価基準					
この科目評価は	1	2	7		によって総合的に評価される（番号を記入）
1 出席率（8割以上）（ 20 %）			6 発表（ %）		
2 授業内の態度や参加度が評価できる（ 30 %）			7 最終レポート（ 50 %）		
3 検定試験の合格または検定試験結果を含む（ %）			8 その他（ %）		
4 期末試験（ %）			9 その他（ %）		
5 授業内の小テストや課題提出（ %）			10 その他（ %）		
※より詳細な各項目の評価%が明記されている場合には、その内容に従うこと ※成績基準は A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(追試合格)・F(不合格)とする					
履修上の注意	事前にテキストを熟読し、分からない点や自信のない点があったらチェックしておきましょう。				
実務経験教員の経歴	実務含め、10年以上経験あり				

科目名	情報分析力を鍛える				
担当教員	馬場秀憲	実務授業の有無	有	授業形態	オンライン
対象学科	ホスピタリティ・ベーシック科	対象学年	1	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数（90分）	16コマ
授業概要、目的、授業の進め方	情報分析の基本、定量データ、定性の分析、情報の見方や捉え方を身につける				
学習目標（到達目標）	テキストに書かれた事例を応用し、現実の社会に当てはめて考えることができる				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	レジュメ				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	授業の目的を知る、情報分析とは何か、事実と解釈の違い		講義		
2	ロジカルシンキングとは、主張と根拠の関係、簡単な主張を論理的に説明する演習		講義・演習		
3	3C分析、SWOT分析で身近な商品を分析してみる				
4	情報整理の基本、MECE、グルーピング				
5	ロジックツリー、因数分解的な考え方				
6	仮説を立てる方法、仮説→検証の流れを実践				
7	数値の基本（平均、中央値、割合）、データの見方				
8	グラフ（棒、折れ線、円）、傾向の読み取り				
9	Excel・スプレッドシート基礎、データの可視化				
10	表面的な結果と本質の違い、「なぜ」の深堀				
11	相関と因果の違い、誤った結論を避ける				
12	分析→判断の流れ、メリットとデメリットの比較				
13	実践的な分析プロセス演習 ①問題設定②仮説③分析④提案				
14	実践的な分析プロセス演習 ①問題設定②仮説③分析④提案				
15	実践的な分析プロセス演習 ①問題設定②仮説③分析④提案				
16	確認テスト				
評価方法・成績評価基準					
この科目評価は		1	2	7	によって総合的に評価される（番号を記入）
1 出席率（8割以上）（ 20 %）		6 発表（ %）			
2 授業内の態度や参加度が評価できる（ 30 %）		7 最終レポート（ 50 %）			
3 検定試験の合格または検定試験結果を含む（ %）		8 その他（ %）			
4 期末試験（ %）		9 その他（ %）			
5 授業内の小テストや課題提出（ %）		10 その他（ %）			
※より詳細な各項目の評価%が明記されている場合には、その内容に従うこと ※成績基準は A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(追試合格)・F(不合格)とする					
履修上の注意	事前にテキストを熟読し、分からない点や自信のない点があったらチェックしておきましょう。				
実務経験教員の経歴	実務含め、10年以上経験あり				

科目名	異文化コミュニケーション論				
担当教員	馬場秀憲	実務授業の有無	有	授業形態	オンライン
対象学科	ホスピタリティ・ベーシック科	対象学年	1	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数（90分）	16コマ
授業概要、目的、授業の進め方	自己と他者の差異に対して中立的な関わり方と文化的背景を学び、コミュニケーションに役立てる力をはぐくむ				
学習目標（到達目標）	現実社会での他者とのコミュニケーションに活用できるようになる				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	レジュメ				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	授業の目的を知る、異文化コミュニケーションの重要性				
2	文化の基本理解、価値観・習慣・行動様式の違い				
3	氷山モデル（表層文化と深層文化）、無意識の価値観				
4	自分の文化的特徴、固定観念				
5	個人守備と集団主義、ケース比較				
6	直接的と間接的、言語と非言語の違い				
7	ボディランゲージ、表情・沈黙・距離感				
8	なぜ誤解が起こるのか、文化的ギャップ				
9	カルチャーショックの段階、柔軟性・受容力				
10	信頼の築き方の文化差、礼儀・マナーの違い				
11	チームでの働き方の違い、リーダーシップの文化差				
12	衝突の対処方法、交渉スタイルの違い				
13	ビジネスや日常の実例分析、複合的な問題対応				
14	テーマ設定→分析→対策提案				
15	プレゼンテーション練習				
16	プレゼンテーション発表				
評価方法・成績評価基準					
この科目評価は	1	2	6		によって総合的に評価される（番号を記入）
1 出席率（8割以上）（20％）					6 発表（50％）
2 授業内の態度や参加度が評価できる（30％）					7 最終レポート（％）
3 検定試験の合格または検定試験結果を含む（％）					8 その他（％）
4 期末試験（％）					9 その他（％）
5 授業内の小テストや課題提出（％）					10 その他（％）
※より詳細な各項目の評価％が明記されている場合には、その内容に従うこと ※成績基準は A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(追試合格)・F(不合格)とする					
履修上の注意	ロールプレイングを多く取り入れるので、授業に積極的に参加してください				
実務経験教員の経歴	実務含め、10年以上経験あり				

科目名	問題発見・解決力を伸ばす				
担当教員	馬場秀憲	実務授業の有無	有	授業形態	オンライン
対象学科	ホスピタリティ・ベーシック科	対象学年	1	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数（90分）	16コマ
授業概要、目的、授業の進め方	ケーススタディから問題のタイプや分析方法、課題形成から解決に至るプロセスを理解する				
学習目標（到達目標）	自らの問題解決に向けて、原因の追究や解決案を立案できるようになる				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	レジュメ				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	授業の目的を知る、問題とは何か（理想と現実のギャップ）				
2	問題発見と問題解決の違い、顕在問題と潜在問題				
3	気づく力の重要性、違和感・非効率の見つけ方				
4	視点を変える思考、5W1H・顧客視点				
5	問題の言語化、SMARTな問題設定				
6	原因分析①ロジックツリー、MECE				
7	原因分析②なぜなぜ分析、根本原因の特定				
8	事実ベースで考える、簡単なデータ分析				
9	仮説の立て方、検証サイクル				
10	発想法（ブレインストーミング）、アイデアの広げ方				
11	実現性・効果の評価、優先順位付け				
12	行動計画（誰が、いつ、何を）、リスク管理				
13	ケーススタディ実践的問題解決プロセス① 問題発見→分析→解決策立案				
14	ケーススタディ実践的問題解決プロセス② 問題発見→分析→解決策立案				
15	ケーススタディ実践的問題解決プロセス③ 問題発見→分析→解決策立案				
16	確認テスト				
評価方法・成績評価基準					
この科目評価は	1	2	7		によって総合的に評価される（番号を記入）
1 出席率（8割以上）（20％）					6 発表（％）
2 授業内の態度や参加度が評価できる（30％）					7 最終レポート（50％）
3 検定試験の合格または検定試験結果を含む（％）					8 その他（％）
4 期末試験（％）					9 その他（％）
5 授業内の小テストや課題提出（％）					10 その他（％）
※より詳細な各項目の評価％が明記されている場合には、その内容に従うこと ※成績基準は A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(追試合格)・F(不合格)とする					
履修上の注意	事前にテキストを熟読し、分からない点や自信のない点があったらチェックしておきましょう。				
実務経験教員の経歴	実務含め、10年以上経験あり				

科目名	インターンシップ実習Ⅰ				
担当教員	馬場秀憲	実務授業の有無	有	授業形態	対面
対象学科	ホスピタリティ・ベーシック科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	3	時間数（90分）	30コマ
授業概要、目的、 授業の進め方	・現場で学び、業界や仕事の理解に繋げる ・事前に学習したり準備することで、自ら学ぶ姿勢で取り組む				
学習目標 (到達目標)	・インターンシップに参加し、自分の目指す姿を想像できるようになる				
テキスト・教材・参考 図書・その他資料	特になし				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	インターンシップレポート準備、目標書き				
2	インターンシップ企業研究				
3	インターンシップ発表 準備				
4	インターンシップ発表 準備				
5	インターンシップ発表 準備				
6	インターンシップ発表 座談会（2年生）				
7	インターンシップ発表 本番				
8～11	インターンシップ実習				
12～15	インターンシップ実習				
16～19	インターンシップ実習				
20～23	インターンシップ実習				
24～27	インターンシップ実習				
28	インターンシップ実習 面談・お礼状作成				
29	インターンシップ実習 振り返り発表準備				
30	インターンシップ実習 振り返り発表				
評価方法・成績評価基準					
この科目評価は	1	2	7		によって総合的に評価される（番号を記入）
1 出席率（8割以上）（ 30 %）			6 発表（ %）		
2 授業内の態度や参加度が評価できる（ 50 %）			7 最終レポート（ 20 %）		
3 検定試験の合格または検定試験結果を含む（ %）			8 その他（ %）		
4 期末試験（ %）			9 その他（ %）		
5 授業内の小テストや課題提出（ %）			10 その他（ %）		
※より詳細な各項目の評価％が明記されている場合には、その内容に従うこと ※成績基準は A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(追試合格)・F(不合格)とする					
履修上の注意	企業の方の迷惑にならないように、ビジネスマナーや礼儀を弁えた行動を取ること。				
実務経験教員の経歴	実務含め、10年以上経験あり				

科目名	インターンシップ実習Ⅱ				
担当教員	馬場秀憲	実務授業の有無	有	授業形態	対面
対象学科	ホスピタリティ・ベーシック科	対象学年	1	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	3	時間数（90分）	30コマ
授業概要、目的、 授業の進め方	・現場で学び、業界や仕事の理解に繋げる ・事前に学習したり準備することで、自ら学ぶ姿勢で取り組む				
学習目標 （到達目標）	・インターンシップに参加し、自分の目指す姿を想像できるようになる				
テキスト・教材・参考 図書・その他資料	特になし				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	インターンシップレポート準備、目標書き				
2	インターンシップ企業研究				
3	インターンシップ発表 準備				
4	インターンシップ発表 準備				
5	インターンシップ発表 準備				
6	インターンシップ発表 座談会（2年生）				
7	インターンシップ発表 本番				
8～11	インターンシップ実習				
12～15	インターンシップ実習				
16～19	インターンシップ実習				
20～23	インターンシップ実習				
24～27	インターンシップ実習				
28	インターンシップ実習 面談・お礼状作成				
29	インターンシップ実習 振り返り発表準備				
30	インターンシップ実習 振り返り発表				
評価方法・成績評価基準					
この科目評価は	1	2	7		によって総合的に評価される（番号を記入）
1 出席率（8割以上）（ 30 %）			6 発表（ %）		
2 授業内の態度や参加度が評価できる（ 50 %）			7 最終レポート（ 20 %）		
3 検定試験の合格または検定試験結果を含む（ %）			8 その他（ %）		
4 期末試験（ %）			9 その他（ %）		
5 授業内の小テストや課題提出（ %）			10 その他（ %）		
※より詳細な各項目の評価％が明記されている場合には、その内容に従うこと ※成績基準は A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(追試合格)・F(不合格)とする					
履修上の注意	企業の方の迷惑にならないように、ビジネスマナーや礼儀を弁えた行動を取ること。				
実務経験教員の経歴	実務含め、10年以上経験あり				